
「第11回関東学生対抗 チーム・マイナス6%軽自動車6時間耐久レース」
開催について

全日本学生自動車連盟関東支部では、10月8日(月)に地球温暖化問題等への連盟活動の一環として、バイオエタノール3%混合燃料「E3」を全面的に使用することにより、夏のエコドライビングコンテストに引き続き、チーム・マイナス6%の冠を頂戴し、装いも新たに「第11回関東学生対抗 チーム・マイナス6%軽自動車6時間耐久レース」を開催いたします。

本大会は、全日本学生自動車連盟が昨年より、チーム・マイナス6%のプロジェクトに賛同、参画し、加盟校自動車部と共に、地球温暖化、環境問題に対して積極的に取り組むために必要となる知識や技術等を身につけるための様々な活動を行う中、学生連盟関東支部が、現在日本においても、最も身近な車として存在する軽自動車を使用し、さらに「E3」を全面的に使って実施する、環境に優しいモータースポーツ活動を提案することを目的に開催いたします。

「第11回関東学生対抗 チーム・マイナス6%軽自動車6時間耐久レース」の詳細については、以下の通りです。

開催概要

- 大会名称 : 「第11回関東学生対抗 チーム・マイナス6%軽自動車6時間耐久レース」
- 開催日 : 2007年10月8日(月) なお、前日7日には大会に向けてのエキシビジョンレースとしてOB/一般の部を開催します。
- 開催場所 : スポーツランド信州 (<http://www.sportslandshinsyu.com/>)
〒381-1222 長野県長野市松代町豊栄字地藏 1005-1
TEL 026-278-4430
- 主催 : 全日本学生自動車連盟関東支部
- 特別協力 : チーム・マイナス6%
- 特別協賛 : (株)りゅうせき ・バイオエタノール3%(E3)燃料のご提供
- 協賛 : (株)角藤、(株)協和興材、(株)コラボ、タカタ(株)、(株)永谷園、(株)平野、三井不動産(株)、三菱オートリース(株)、明治産業(株)、(株)モビリティランド、横浜ゴム(株)、(株)ライオンゴム、(株)YFC
- 競技種目 : 軽自動車6時間耐久レース
- 内容 : 未舗装路(ダートコース)を複数名が交代で6時間に渡り、同時走行し、その周回数を競う。周回数が多く、かつ早くゴールしたチームが勝者となる。
・ドライバーの連続走行時間は60分以内
・レース中5回のピットストップ義務
・使用燃料は「バイオエタノール3%(E3)燃料」
- 競技車両 : 競技車両は、軽自動車で排気量660cc以下の車両とする。駆動は二輪駆動のみとする。過給器(ターボ)付車両、ワンボックス、キャブトラックは認めない。カムシャフトは2本で、1気筒当たりのバルブは4本までとし、キャブレター仕様車両のみとする。
- 参加条件 : 全日本学生自動車連盟加盟の関東支部所属大学自動車部の部、及び非加盟の大学一般の部。OB・一般の部(前日に開催、大学OB、協賛企業のチーム)
競技参加者は普通自動車免許取得者及び独自の軽耐久ライセンス所持者。

プログラム(予定)

07:10~ 7:30 開会式
08:00~14:00 6時間耐久レース
14:30~15:00 表彰式、閉会式

バイオエタノール3%「E3」燃料について

「E3燃料」は、植物性の物質を利用して作られるエタノール(エチルアルコール)を一般のガソリンに3%混合して作られた自動車用の燃料のことです。

アルコールは、CO₂や硫黄酸化物(SO_x)の排出が全くなく、一酸化炭素・炭化水素(すすや黒煙)も少ないなどの特徴があり、石油代替燃料として注目されています。

植物など糖質からの発酵で作られるエタノールや原料の燃焼ガスを改質して作られるメタノールは、両方とも光合成を行って成長する植物を原料とすることができるため、そうしたバイオ燃料は、原料となる植物自体が既にCO₂を吸収しているものと考えられるため、製造段階や燃焼時に排出されるCO₂は理論的にはゼロだといえます。また、太陽と水があれば育成可能な植物は、枯渇が心配されている化石系原料に対して、持続的利用が可能な原料として位置づけられています。

政府では2003年5月に揮発油品質確保等に関する法律を改正、エタノール含有3%の混合許容値を定めて、環境省はこのバイオエタノール3%混合ガソリン、一般的には「E3」と呼ばれる燃料の普及を目指しています。

参加チーム

参加チーム数：学生の部 32 チーム（学生加盟校の部、学生一般の部含む）

参加人員約 230 名（選手、ピットクルーを含む）

OB/一般の部 28 チーム 参加人員約 180 名

第11回関東学生対抗チーム・マイナス6%軽自動車6時間耐久レース						
エントリーリスト				H19.9.25 現在		
学生自動車部(10/8開催)				OB/一般の部(10/7開催)		
加盟校の部		一般の部				
チーム名	ゼッケン	チーム名	ゼッケン	チーム名	ゼッケン	
東京農業大学 A	35	東京農業大学 B	83	青山学院大学 OB チーム	44	
早稲田大学自動車部 A チーム	10	早稲田大学自動車部 B チーム	28	SCCJ 協和興材	75	
専修大学	20	早稲田大学自動車部 C チーム	82	慶應義塾大学 OB-A	42	
明星大学	81	青山学院大学 B チーム	85	慶應義塾大学 OB-B	47	
青山学院大学 A チーム	17	慶應義塾大学 B	23	日本大学 OB - A チーム	40	
慶應義塾大学 A	3	芝浦工業大学 B チーム	80	日本大学 OB - B チーム	60	
武蔵工業大学	11	立教大学 B	86	日本大学 OB - C チーム	64	
東洋大学	24	信州大学 A	41	日本大学 OB - D チーム	88	
芝浦工業大学 A チーム	16	信州大学 B	72	東京農業大学 A チーム うさぎ組	62	
日本大学	1	法政大学 B チーム	79	東京農業大学 B チーム かめ組	67	
千葉工業大学	6	東海大学 B	36	東京農業大学 C チーム あり組	73	
立教大学 A	2	明治大学 B	31	駒澤大学 OB 会	76	
関東学院大学	19	愛知工業大学	89	防衛大学校 OB チーム	54	
法政大学 A チーム	7	11 校 / 13 チーム		亜細亜大学 A チーム	13	
中央大学	4			亜細亜大学 B チーム	87	
東海大学 A	5			専修大学 OB - A	52	
防衛大学校	21			専修大学 OB - B	63	
明治大学 A	9			中央大学 OB	49	
駒澤大学	84			法政大学 OB Team Orange A	46	
19 校				法政大学 OB Team Orange B	68	
				立教大学 OB A チーム	66	
				立教大学 OB B チーム	74	
				東洋大学 OB チーム	53	
				東海大学 OB A チーム	48	
				東海大学 OB B チーム	59	
				連盟理事チーム	93	
			連盟女子チーム	92		
			慶應義塾大学 OB・学生	56		
30 校 / 32 チーム				16 団体 / 28 チーム		

昨年の活動記録

開会式



開会式、鈴木大会会長からの挨拶



一昨年優勝の中央大学による選手宣誓



昨年度より導入された E3 燃料(バイオ燃料)



中パドックからのピット風景

競技スタート



出走前の準備の様子



スターティンググリッドに並んだ競技車



レース風景

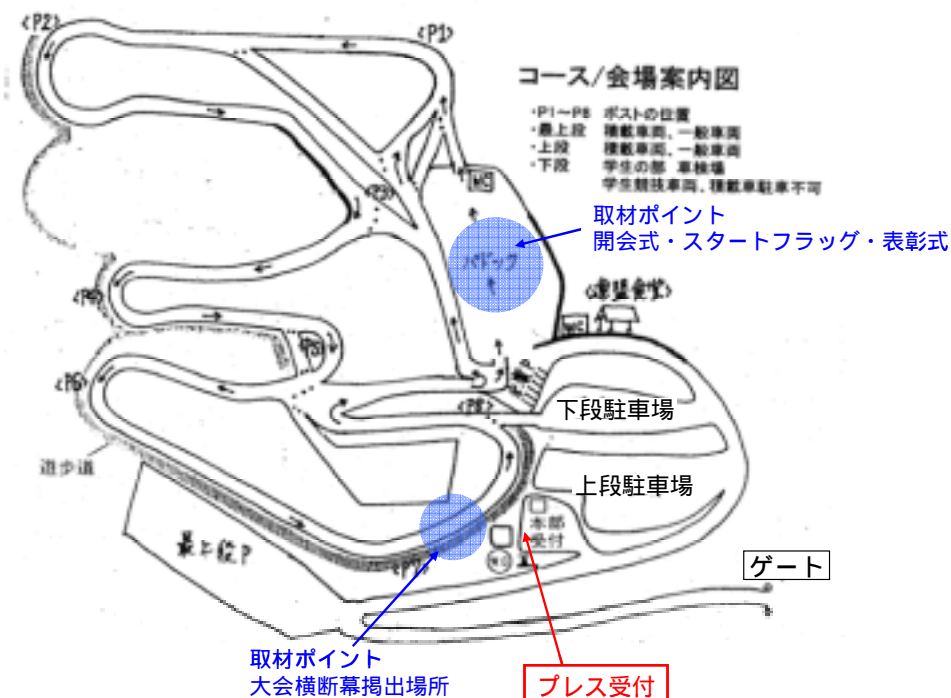


審査委員長によるチェッカー。

会場アクセス



会場案内図・コース概要



【全日本学生自動車連盟について】

全国 121 大学の自動車部が加盟する、国内最大の学生モータースポーツ運営組織。

会長：長谷川聡哲

所在地：東京都江東区森下 1-15-7 〒135-0004

TEL/FAX：03-3634-9197

URL：<http://www.ajsaa.com/>

E-mail：webmaster@ajsaa.com

【全日本学生自動車連盟関東支部】

支部長：鈴木伸一

所在地、連絡先等は上記同様

「第11回関東学生対抗 チーム・マイナス6%軽自動車6時間耐久レース」
10月8日 <取材申込書>

御社名	
媒体名	
部署名・役職名	
取材代表者名	合計()名
撮 影	無 ・ 有〔 スチール () 台 ・ VTR () 台 〕
御連絡先	TEL. _____ FAX. _____ E-mail _____

<ご取材について>

取材を希望される場合は、**10月5日(金) 17:00**までに、本申込書をFAXにて下記宛にお送りください。

スポーツランド信州の「ゲート」(別紙会場案内図・コース概要参照)では、名刺をご提示のうえご入場ください。

会場での「プレス受付」(別紙会場案内図・コース概要参照)は、**6:30より**開始いたします。

当日は、必ず自社の腕章・ゼッケン又は「プレス受付」でお渡しする腕章・ゼッケンを装着してください。

当日「プレス受付」終了後、ご取材時の注意事項についてのブリーフィングを行います。

当日「プレス受付」にて、取材誓約書に署名・ご捺印いただきますので予めご了承ください。

FAX返信先

FAX:03-3261-8158

「チーム・マイナス6%運営事務局」 広報担当(中原、鈴木、山下)

TEL:03-3261-8113